

医学用語あれこれ 4



浜口 恵子

前回まで名詞接尾辞を見てきましたが、これは数も多いので、また折に触れて紹介することになります。今回は少し名詞接尾辞から離れ、形容詞接尾辞を見てみたいと思います。語を形容詞にする接尾辞をいくつかあげてみます。

- | | |
|-----|------------------------------------|
| -al | } ~の、~に関する、~に属する、
という意味を表す形容詞語尾 |
| -ar | |
| -ac | |
| -ic | |
- ous : ~の多い、~性の、~に似た、
という物質、状態を表す形容詞語尾

十二指腸を表す連結形は duoden/o ですが、この語根 duoden に形容詞接尾辞の -al をつけると、duoden/al 十二指腸の、十二指腸に関する、という形容詞ができます。duoden/al carcinoma (cancer) にすると十二指腸癌となります。形容詞接尾辞 -al のかわりに名詞接尾辞 -um をつけると duoden/um 十二指腸(名詞)ができるということは以前にお話ししました。同様にして、直腸 rect/o の形容詞形は rect/al となり、rect/al carcinoma (cancer) にすると直腸癌となります。名詞形は rect/um です。空腸 jejun/o の場合は、形容詞が jejun/al、名詞が jejun/um、また回腸 ile/o は ile/al、ile/um となります。cerebr/o は大脳に関する語をつくるのに用いられる連結形ですが、これも形容詞形は cerebr/al、名詞形は cerebr/um です。腹部を表す語 abdomin/o の形容詞形は abdomin/al ですが、名詞形は abdomen となります。腎臓を表す連結形 ren/o は、形容詞形は ren/al ですが、名詞形は普通 kidney を使います。脊椎、脊柱を意味する spin/o は、形容詞形は spin/al、名詞形は spine です。

-ar をつけて形容詞にする語はそれほど多くあ

りません。とりあえずは、扁桃を表す tonsill/o の形容詞形 tonsill/ar と、腰部、腰椎を意味する lumb/o の形容詞形 lumb/ar とを覚えておきましょう。名詞形はそれぞれ tonsil、lumbus ですが、このラテン語からきた lumbus という形はあまり使われず、普通は loin を使うようです。

-ac も非常に少なく、よく使われるものですがに思い出されるのは、心臓に関係する語をつくる時に用いられる cardi/o の形容詞形 cardi/ac ぐらいでしょうか。名詞で使う時は、普通 heart を使います。

-ic を使用する語はたくさんあります。胃を意味する連結形 gastr/o の形容詞形は gastr/ic、肝臓 hepat/o は hepat/ic です。それぞれ名詞で使う時は stomach、liver の形を使います。膵臓を表す pancreat/o の形容詞形は pancreat/ic、脾臓 splen/o は splen/ic となり、これらの名詞形は pancreas、spleen です。結腸を意味する col/o の形容詞形は col/ic、名詞形は colon です。thorac/o は胸に関する語に使用しますが、形容詞形は thorac/ic、名詞形は thorax です。

-ous は前記の形容詞語尾と少し違って、物質、状態を表します。ven/o は静脈を表す連結形ですが、形容詞形は ven/ous で静脈の、静脈性の、という意味になります。名詞形は普通 vein を使います。muc/o は粘液を意味する連結形です。形容詞形は muc/ous で粘液の、粘液性の、という意味です。名詞形は muc/us です。ser/o は漿液を表す連結形ですが、形容詞形は ser/ous で漿液の、漿液性の、血清の、という意味になります。名詞形は ser/um です。

以上、簡単に形容詞接尾辞を見てみました。今まで名詞接尾辞、形容詞接尾辞と話を進めてきましたが、接尾辞については一旦ここで筆を擱くことにし、次回からは接頭辞に入りたいと思います。